

「鵜川河口オオハンゴンソウ（特定外来生物）防除」を行いました

治水課
苫小牧河川事務所

7月6日（土）、鵜川左岸のむかわ町汐見地先において、住民参加によるオオハンゴンソウ防除を行いました。

住民参加による防除は、平成23年から実施しており、今年で9年目を迎えました。鵜川河口の特徴的で自然豊かな環境と自然景観を維持するため、干潟及びその周辺の湿地への特定外来生物オオハンゴンソウの侵入・定着を防止することを目的としています。

地元むかわ町等で活動する、河川協力団体「ネイチャー研究会inむかわ」の協力により行われ、今年もむかわ町職員・室蘭開発建設部職員・室蘭開建工事受注者も含め23名の参加がありました。

最初に、オオハンゴンソウの本数や高さを計測したところ、前年度よりも本数、高さとも大幅に減少しており、防除の効果を確認しました。その後、参加者全員で防除作業を行いました。

室蘭開発建設部では、鵜川河口域の良好な自然環境の保全に向けて、地域の皆さまと協働で活動に取り組んでいます。

実施位置（鵜川河口左岸）



オオハンゴンソウと在来植物の見分け方の説明



オオハンゴンソウ防除の様子



オオハンゴンソウ防除（抜き取り）成果物